

日本キリスト教連合会 会報

日本キリスト教連合会
東京都豊島区駒込3-15-20
日本アッセンブリー教団内
2023年7月20日発行



日本キリスト教連合会 常任委員

江原 慶亮（日本同盟基督教団 宣教師部 総務局 主管）

主の栄光が現れるために

シャローム みなさまに平安がありますように。

先期より日本キリスト教連合会の常任委員を拝命しました江原慶亮でございます。元は仏教僧ですが、主キリストにおける永遠の命を得る恩寵その恵みを受けました。この小さき者が、日本キリスト教連合会加盟団体のみなさまの共益のためにご奉仕できますことは、大きな喜びでございます。

秘められた神の御計画の啓示「奥義」を探索するキリスト者として、地上で果たすべき役割は何か？ポストコロナの今、常にこの問いかけをし続ける必要に駆られます。

国と国また地域間の争いが絶えません。すべての人に福音が必要であると痛感させられます。みなさまと共に、国また地域を司る人々のためのとりなしの祈りを捧げつづけようと強く思われます（第一テモテ二・1〜4）。

基本的な人権が脅かされる事象が、地上のいたるところで起きております。国境を超えたキリスト教界のさらなる連携が求められます。

起きよ、光を放て。

あなたの光が来て

主の栄光があなたの上に昇ったのだから。

見よ、闇が地を覆い

密雲が諸国の民を包む。

しかし、あなたの上には主が輝き出で

主の栄光があなたの上に現れる。

国々はあなたの光に向かって歩み

王たちはあなたの曙の輝きに向かって歩む。

（イザヤ六〇1〜3 聖書協会共同訳）

国内に目を向けますと、寄附の不当勧誘防止法や厚労省家庭ことも局長通知、また相続登記の義務化（相続土地国庫帰属法）のような所轄庁以外の行政の動向をも注視し、行政各部の意図は何か、本質は何かを見定めなければなりません。マイナンバーカードや街頭防犯カメラは、公権力による市民監視につながるのではないかと巷の懸念もあります。

聖書を通して神様は「目を覚ましていなさい」と仰います。日本キリスト教連合会は、日本宗教連盟の構成団体として、所轄庁との諸協議に参与しつつも、国が監視国家化しないようにと「監視」する役割を担い続けます。そして、ここぞというときには、主のみこころを信ずるキリスト教界あげての一致を望みます。

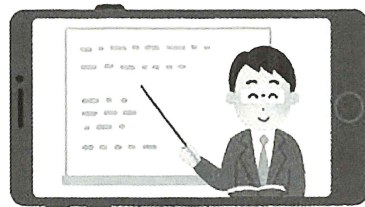
すべては―主の栄光のために―。世界における神の救いと回復の働きに加えられ、協働できることに心から感謝いたします。



ZOOM

日本キリスト教連合会総会講演 新たな対応が求められる 最近の諸問題

2023年4月20日 オンラインでの開催



旧統一協会問題は解決に向かうどころか、自民党を巻き込んでいよいよ混迷を深めています。国会では被害者救済のために「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」を成立、施行させました。しかしこの新法に対しては、宗教界からさまざまな懸念が表明されています。今回の講演では新法にまつわる課題とともに、最近の宗教界で課題となっている事柄を中心に解説していただきました。良き理解を得ることができました。

この新法は旧統一協会被害者の救済を目指したものです。結論から言えばまったく不十分なものです。条文の中にはカギとなる用語があります。まず「法人等」です。法人の範囲が曖昧で、これではすべての団体が対象になります。また多額の寄附で深刻な被害をもたらした献金については、「寄附の取り消し」として返還できる道筋を作っています。しかし、私たち教会の献金は神へのささげ物であって、法人にささげるものではありません。取り消し要件も曖昧で、「困惑状態」で行われた寄附は後日一方的な通知のみで取り消すことができ、返還を要求できるとなりました。今後、宗教界に混乱が起きる可能性もあり、それなりの対抗策を考える必要がある

かもしれません。「配慮義務」が求められる等、全体的に非常に曖昧な立て付けだと感じさせられます。もう一つの懸念は「宗教の信仰等に関する児童虐待等への対応」として厚労省から出された通知です。前提として「児童は自由意志で信仰しているとは限らない」とし、小学生はもとより中学生、高校生の信仰指導まで制限されかねません。いま二世問題が世の中では取り沙汰されていますが、十把一絡げにすべての宗教教育まで否定される危険性も考えておかねばなりません。もう一点、教会堂に太陽光発電装置を設置した場合、売電すると収益事業と見なされ、課税対象となるという指摘です。そうすると境内建物境内地であっても法人税、固定資産税がかかってくることになります。



教会はどう対処する？

講師 櫻井園郎先生（常任委員会法務顧問）

4月20日（木） 午前10時30分～12時



No.822 「法と神学」のミニストリーズ
東京都中央区日本橋人形町1-17-7 ナンヤビル602
<https://law396.com> (ローさくらドットコム)

旗

基督教会において新たな対応 が求められる最近の諸問題

2023年5月20日
日本キリスト教
連合会

© Kunio Sakurai, 2023

講演内容

- ・ I 寄附の取消し
- ・ II 宗教信仰と児童虐待
- ・ III パワーハラスメント
- ・ IV 太陽光発電と法人税
- ・ V 所得税の源泉徴収
- ・ VI 教職者館と固定資産税

- 1 統一協会の被害者救済になるのか？
まったくありません！
- 2 「法人等」とは？
すべての「法人」とすべての「団体」が対象です。
宗教法人、学校法人、社会福祉法人、NPO法人など。
教会、市町村、町内会、PTA、青年団、趣味の会、スポーツクラブなど。
- 3 「寄附」とは？
(1) 「寄附」とは、個人から法人等への財産権の移転です。
(2) 「献金」は、神への献げ物であり、法人等への寄附ではない。
旧約聖書の犠牲・供え物、献金の讃美歌、献金の取扱いなど。
ただし、「献金」という名目の財産権の移転は、寄附となります。

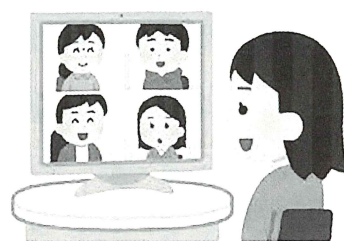
秋の研修会

日本キリスト教連合会主催 第47回 法人事務・会計実務研修会

今年も研修会を開催します！ 箱根での研修会も幸いでしたが、オンライン開催によって全国から参加して下さる皆さまを拝見し、とてもうれしくなります。さて、今年は普段の働きにすぐ役立つ実践的な学びをいたします。会計実務コースでは「わかりやすい会計報告は」「税務調査があったとき」、法人事務コースでは「所轄庁への提出書類作成」「登記すべき事柄」などなど大切なことを学びます。



Zoom を使用して行います。すでに多くの教団・教会で習熟しておられると思います。もし不案内な方がおられましたら、YouTube に Zoom の使い方の動画がたくさん掲載されています。事前に観ておかれると助けになると思います。Zoom は最新版をダウンロードしておいてください。



開催日時 2023年10月18日(水)／19日(木) 午前9時30分～15時

講座名 A：会計実務コース

2023年10月18日(水)

講師：長岡淳三氏、長岡正氏

(9:00～9:30 入室)

9:30～10:15 開会の祈り

10:20～12:00 講演1

休憩(1時間)

13:00～14:30 講演2

14:30～15:00 質疑応答／閉会

講座名 B：法人事務コース

2023年10月19日(木)

講師：矢萩新一氏、道家紀一氏

(9:00～9:30 入室)

9:30～10:15 開会の祈り

10:20～12:00 講演1

休憩(1時間)

13:00～14:30 講演2

14:30～15:00 質疑応答／閉会

参加費：1講座につき1,000円(事前資料代込み) 締切日：9月30日(土)

参加申込(メールアドレス必須です) 日本キリスト教連合会事務所に「Eメール」にて、別途お送りする案内チラシ裏面(申込要項)に従って、氏名、住所、電話番号、メールアドレス(必須)、所属を記載して申し込みを行ってください。また参加費の振り込みを行ってください。お振り込みを確認後、ZOOMのご案内をいたします。事前質問もぜひお寄せください。

▶ 9月30日(土)までにお申し込み、お振り込みをしてください。

担当：笠原 幸(y.kasahala@ag-j.or.jp) 170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20 日本アッセンブリーズオブゴッド教団内 03-3918-5935(電話)、03-3918-0474(FAX)



日本キリスト教連合会

<https://jccc21.com>

News



日本キリスト教連合会としての取り組み

多くの懸念材料のある中で、信教の自由と平和を守るため、何よりも主の栄光が現されるため、活動します。

21世紀がこんなにもたいへんな時代になるとは、想像もできませんでした。被造物のすべてが共にうめき、苦しんでいるのを日々目の当たりにしています。現代にあって、平和を実現する教会となるために、互いに心を合わせ、祈りを合わせたいと思います。

2022年度の「日本キリスト教連合会総会」を開催

2023年4月20日、2022年度総会を事前の書面決議により開催しました。常任委員はZoomで参加、事前送付の総会資料に基づいて各種報告、昨年度の決算、及び新年度

の事業報告、予算案を承認しました。また新規加盟の申請が出されていた「日本チャーチオブゴッド教団」の加盟が承認されました。今年度の団体分担金は正規の金額となります。

編集後記

ようやくコロナが落ち着きを見せ、対面での会合が増えてきました。まだ第9波の懸念もありますが、少しずつ教会の営みも元に戻りつつあります。定例の秋の研修会は対面開催も可能

と思いますが、アンケートでもオンライン開催を望む声が大きく、今年もZoomを用いて行うことになりました。法人事務クラスの担当はこの分野に精通した常任委員の先生方に担ってもらいます。これは期待がもてます。(矢木良雄)

●日本キリスト教連合会役員（2023年度）

委員長 土屋 潔（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団）
副委員長 本田勝宏（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団）
常任委員 田中義直（日本バプテスト連盟）
道家紀一（日本基督教団）
滝田浩之（日本福音ルーテル教会）
矢萩新一（日本聖公会）
江原慶亮（日本同盟基督教団）
川口 薫（カトリック中央協議会）
矢木良雄（イムマヌエル綜合伝道団）

▶日本キリスト教連合会の主な活動

- ・年6回の常任委員会
4月、5月、7月、9月、11月、2月（変更あり）
- ・年2回の定例会（例年は2月と9月に開催）
- ・法人事務・会計実務研修会（秋に開催します）
- ・「会報」を随時発行し、情報をお届けします

*日本キリスト教連合会へのお問い合わせは

170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20 日本アッセンブリーズ
オブ・ゴッド教団内「日本キリスト教連合会」へ。

